

【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における道徳教育に関する記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にある。
- ② 多様な価値観の、時に対立がある場合は、対立が大きくなるように、問題に触れないように振る舞うことが、道徳教育で養うべき基本的資質である。
- ③ 道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。
- ④ 学校における道徳教育は、特別の教科である道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行うものである。
- ⑤ 学校における道徳教育は、児童（\*生徒）の発達の段階を踏まえて行わなければならない。（\*は、中学校、特別支援学校中学部）

1

(2) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における道徳科の目標の一部である。（ア）～（ウ）にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、（ア）についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（\*広い視野から）（イ）に考え、自己の（\*人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、（ウ）と態度を育てる。

（\*は、中学校、特別支援学校中学部）

- ① （ア） 道徳的諸価値      （イ） 多面的・多角的      （ウ） 実践意欲
- ② （ア） 道徳的諸価値      （イ） 総合的              （ウ） 論理的思考力
- ③ （ア） 人権              （イ） 多面的・多角的      （ウ） 論理的思考力
- ④ （ア） 人権              （イ） 総合的              （ウ） 実践意欲
- ⑤ （ア） 道徳的諸価値      （イ） 多面的・多角的      （ウ） 論理的思考力

2

- (3) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）「第3章 道徳科の内容」では、指導すべき内容項目をA B C Dの4つの視点で分類整理し、その内容を端的に表す言葉を付記したものを見出しにして、内容項目ごとの概要、（\*学年段階ごとの）指導の要点を示している。次のアとイはA B C Dのどの視点に分類されるものであるか、適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。（\*は、小学校、特別支援学校小学部）

ア [礼儀]

イ [伝統と文化の尊重, 国家や郷土を愛する態度]

項目

- A 「主として自分自身に関すること」  
B 「主として人との関わりに関すること」  
C 「主として集団や社会との関わりに関すること」  
D 「主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること」

- ① ア A イ B  
② ア A イ C  
③ ア B イ C  
④ ア B イ D  
⑤ ア C イ B

【2】 次の問いに答えよ。

- (1) 中学校の美術科を指導する上で、小学校図画工作科からの連続性は大切である。次の文は、「小学校学習指導要領解説 図画工作編」(平成29年7月 文部科学省)における図画工作科の目標に関する解説の記述である。(ア)～(ウ)にあてはまる適切な語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

児童は、幼いころから、身近な人やものなどと関わり合いながら生きている。自分の(ア)を手掛かりに、周りの人や身近なもの、自然などの環境に、自分から働きかけたり働きかけられたりしながら成長していく。

そのことを造形的な面から捉えると、次のような姿が見られる。例えば、初めは身近なものに触れ、その心地よさに浸っているが、次第に地面や身近にある紙などに跡が残せることに気づき、線や形をかいてその形を意味付けする。それはやがて、表現の欲求と結び付き、自分の願いや思いを表すことの楽しさや喜びを味わうようになる姿である。また、初めは身近にある材料を手にして並べたり、つないだり、積んだりすることを楽しむなどしているが、次第にその形や色などに意味付けをし、(イ)を働かせていろいろなものをつくることに気付く。それはやがて、表現の欲求と結び付き、意図的にものをつくるようになる姿もある。さらに、自分がつくりだした形や色などから新たなことを思い付いて試したり、自分の思いを絵に表しながら形や色などから新たなことを思い付いてかき加えていったりするなど、つくり、つくりかえ、つくる姿もある。

そこでは、つくりだす喜びを味わうとともに、見たり感じたりする力、次にどのような形や色にするかを考える力、それを実現するために用具や表し方を工夫する力、一度つくったものを改めて見て、新たなものをつくりだそうとする力などが働いている。これは、児童の造形的な資質・能力が自然に発揮されている姿ともいえる。

教科の目標は、このような(ウ)資質・能力を一層伸ばし、表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す観点に立っている。

(ア) ① 興味・関心    ② 感性    ③ 感覚    ④ 感性や感覚    ⑤ 感覚や行為    4

(イ) ① 手    ② ころ    ③ 感性    ④ 思考    ⑤ 想像    5

(ウ) ① 児童がこれまでに獲得した    ② 社会から望まれている  
③ 児童自身に本来備わっている    ④ 児童に発揮させたい  
⑤ 児童自身の社会生活に必要な    6

(2) 次の文は、「小学校学習指導要領解説 図画工作編」(平成29年7月 文部科学省)における内容の構成に関する記述の一部である。(ア)、(イ)にあてはまる適切な語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

「造形遊びをする」は、結果的に作品になることもあるが、始めから具体的な作品をつくることを目的としないのに対して、「絵や立体、工作に表す」は、およそのテーマや目的を基に作品をつくろうとすることから始まる。また、「造形遊びをする」は、思い付くままに試みる自由さなどの(ア)の特性を生かしたものであるが、「絵や立体、工作に表す」は、テーマや目的、用途や機能などに沿って(イ)を追求していく性質がある。このような、それぞれの活動の特性を生かしながら指導を工夫する必要がある。

「造形遊びをする」と「絵や立体、工作に表す」は、二つの側面から児童の資質・能力を育成しようとするものであり、これらの活動を通して「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」を育成することになる。

(ア) ① 遊び    ② 素材    ③ 環境    ④ 造形    ⑤ 児童

7

(イ) ① 発想    ② 技能    ③ 造形性    ④ 感性    ⑤ 自分の表現

8

(3) 次の文は、「中学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省) 美術の目標に関する記述である。下線部(ア)、(イ)の解説として適切でないものを①～④から選び、番号で答えよ。

(1) (ア)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、(イ)表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

- (ア) ① ここでは、造形的な視点を豊かにするために必要な知識について示している。  
② 今回の改訂では、美術科における知識として、具体的には〔共通事項〕の内容を示している。  
③ ここでの知識とは、新たな事柄として知ることや言葉を活用することが中心となる。  
④ 「対象や事象を捉える」とは、美術作品や造形物、自然物などや、生命感や心情、精神的・創造的価値などを認識することである。

9

- (イ) ① ここでは、発想や構想をしたことを基に、材料や用具などを生かし工夫するなどして創造的に表す技能について示している。  
② 決められた方法で表現することを基本に、作品の完成度を高めていくことで身に付くものである。  
③ 創意工夫し表すこと自体が挑戦しがいのある楽しい活動であることを実感することが、生徒自らの新たな創造の喜びにつながるものである。  
④ 表現の学習では、発想や構想に関する資質・能力と創造的に表す技能とが相互に関連しながら育成されていくものであり、両者が関連しあって初めて、創造的な表現が可能になるのである。

10

(4) 次の文は、「中学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)美術における〔共通事項〕の指導に関する記述の一部である。(ア)～(ウ)及び(エ)～(カ)にあてはまる適切な語句の組合せをそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

(1)〔共通事項〕の指導に当たっては、生徒が造形を豊かに捉える多様な視点をもてるように、以下の内容について配慮すること。

ア〔共通事項〕のアの指導に当たっては、造形の要素などに着目して、次の事項を実感的に理解できるようにすること。

(ア) 色彩の色味や明るさ、鮮やかさを捉えること。

(イ) 材料の(ア)を捉えること。

(ウ) 形や色彩、材料、光などから感じる(イ)などを捉えること。

(エ) 形や色彩などの組合せによる(ウ)の美しさを捉えること。

(オ) 余白や空間の効果、立体感や遠近感、量感や動勢などを捉えること。

イ〔共通事項〕のイの指導に当たっては、(エ)や(オ)などに着目して、次の事項を実感的に理解できるようにすること。

(ア) 造形的な特徴などを基に、(カ)たり、心情などと関連付けたりして(エ)で捉えること。

(イ) 造形的な特徴などを基に、(オ)や様式などの文化的な視点で捉えること。

i	(ア)	(イ)	(ウ)
①	特徴	静かさや激しさ、楽しさ	対比
②	性質や質感	優しさや楽しさ、寂しさ	対比
③	特徴	優しさや楽しさ、寂しさ	構成
④	特徴	優しさや激しさ、楽しさ	調和
⑤	性質や質感	優しさや楽しさ、寂しさ	構成

11

ii	(エ)	(オ)	(カ)
①	作者の考え方	作風	見立て
②	全体のイメージ	作風	見立て
③	作者の考え方	美的価値	系統付け
④	全体のイメージ	美的価値	見立て
⑤	美的価値	史的価値	系統付け

12

- (5) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 美術編」(平成29年7月 文部科学省)における指導計画の作成上の配慮事項に関する記述の一部である。(ア)～(オ)にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

主体的・対話的で深い学びは、必ずしも1単位時間の授業の中で全てが実現されるものではない。題材など内容や時間のまとまりの中で、例えば、主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり(ア)して自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか、対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか、学びの深まりをつくりだすために、(イ)をどのように組み立てるか、といった視点で授業改善を進めることが求められる。また、(ウ)に応じ、多様な学習活動を組み合わせて授業を組み立てていくことが重要であり、題材などのまとまりを見通した学習を行うに当たり基礎となる「知識及び技能」の習得に課題が見られる場合には、それを身に付けるために、生徒の主体性を引き出すなどの工夫を重ね、確実な習得を図ることが必要である。

(略)

「深い学び」の視点から学習活動の質を向上させるためには、(エ)を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実させることで、美術を学ぶことに対する必要性を実感し目的意識を高めるなどの「主体的な学び」の視点も大切である。さらに、自己との対話を深めることや、[共通事項]に示す事項を視点に、表現において発想や構想に対する意見を述べ合ったり、鑑賞において作品などに対する(オ)批評し合ったりすることなどの「対話的な学び」の視点が重要である。

- (ア) ① 自分が興味のあることを追求したり      ② 学習したことを振り返ったり  
 ③ できあがった作品を味わったり      ④ 自分の考えを広げたり  
 ⑤ 学習を楽しんだり

13

- (イ) ① 教師が教える場面      ② 生徒と教師がともに考える場面      ③ 生徒が考える場面  
 ④ 生徒が考える場面と教師が教える場面  
 ⑤ 生徒が教え合う場面と教師が教える場面

14

- (ウ) ① 環境の実態      ② 教師や学校の実態      ③ 学校や地域の実態  
 ④ 社会の実態      ⑤ 生徒や学校の実態

15

- (エ) ① 造形的な見方・感じ方      ② 創造的な感じ方      ③ 創造的な考え方  
 ④ 造形的な見方・考え方      ⑤ 造形的な感性

16

- (オ) ① 自分の価値意識をもって      ② 美的な価値意識をもって      ③ 他者の価値意識に立って  
 ④ 専門的な美意識をもって      ⑤ 普遍的な美意識に立って

17

(6) 次の文は、「高等学校学習指導要領」(平成30年3月 文部科学省) 第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 1 目標である。(ア)～(ウ)にあてはまる適切な語句を①～⑥から選び、番号で答えよ。

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、(ア)、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し(イ)発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、(ウ)美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

- ① 美的体験を重ね
- ② 生涯にわたり
- ③ 自ら
- ④ 創造的に
- ⑤ 表現や鑑賞の活動を楽しむ
- ⑥ 感情豊かに

(ア)	(イ)	(ウ)
18	19	20

【3】 絵画表現について、次の問いに答えよ。

- (1) 次の絵画の潮流に関する文を読んで (ア)、(イ) にあてはまる適切なものをそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。なお、同じ記号の ( ) には同じ語句が入る。

第一次世界大戦前後の1920年代、世界各地からフランスのパリを訪れ、活躍していた画家たちを (ア) と呼びました。彼らは互いに刺激し合いながらも、次々と展開されるフォーヴィスムやキュビスムなどの表現運動にとらわれず、(イ) を基に独自の画風を追求しました。

ポーランド出身のモイーズ・キスリングは (ア) の画家たちの中心的な存在で、明るい色彩を用いて風景や静物、女性像を数多く描きました。

ロシア出身の (ウ) は故郷で過ごした記憶や恋人たちを幻想的で色彩豊かに描き、日本出身の藤田嗣治は人物を日本美術で用いられるような独自の細い線と乳白色で描きました。

さらに、淡い色調で女性たちを描いたローランサン、白を基調とした風景画でパリの街角を描いた (エ) らのフランス人画家も、(ア) の作家に含まれます。

- (ア) ① ベル・エポック  
② エコール・ド・パリ  
③ アール・ヌーヴォー  
④ ナビ派  
⑤ アンフォルメル

21

- (イ) ① 心の奥底にある無意識の世界  
② それぞれの作家の思想や出身国の文化  
③ 社会や文化に対する抵抗や絶望感  
④ 純粹に色彩や立体などの造形要素  
⑤ 人間の内部に潜む感情

22

- (2) (1) の文中の (ウ)、(エ) にあてはまる画家の名前の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- | (ウ)     | (エ)    |
|---------|--------|
| ① クリムト  | ルソー    |
| ② ボナール  | ユトリロ   |
| ③ シャガール | ルソー    |
| ④ ボナール  | ロートレック |
| ⑤ シャガール | ユトリロ   |

23

(3) (1) の文中の下線部 a の「モイズ・キスリング」の作品はどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。



①



②



③

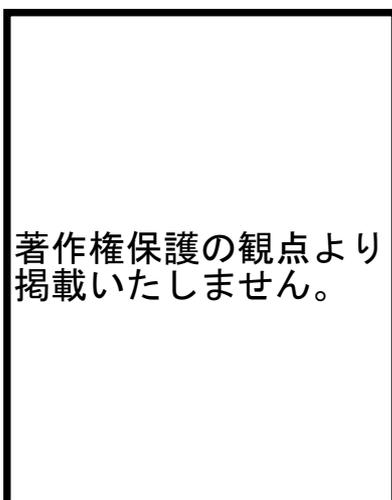
著作権保護の観点より  
掲載いたしません。

④

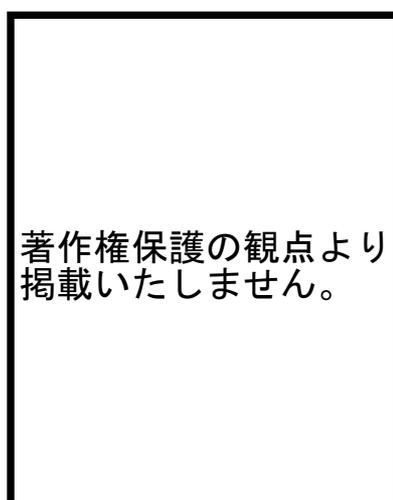
著作権保護の観点より  
掲載いたしません。

⑤

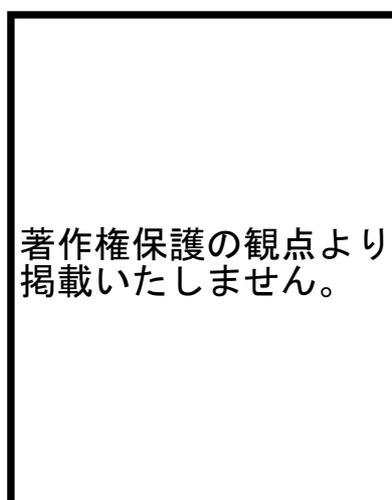
(4) 次の作品のうち、藤田嗣治の作品でないものはどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。



①



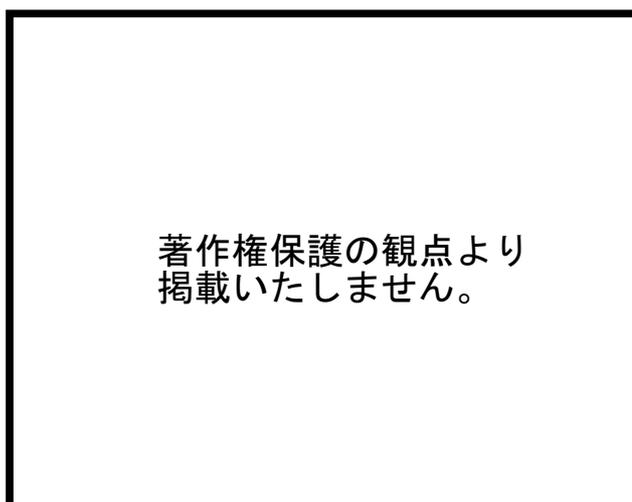
②



③



④



⑤

25

- (5) 次の文は、画家 アメデオ・モディリアーニについての記述である。(ア)、(イ) にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

イタリア出身のアメデオ・モディリアーニ（1884-1920）はフランスに渡り、ピカソや藤田嗣治などと共に活躍しました。祖国で学んだ堅実な絵画技法をもとに、芸術の都パリで個性的な作風を確立し、生涯に多くの（ア）を描きました。

故郷イタリアからパリに到着したモディリアーニは、セザンヌなどの作品に影響を受け、キュビズムやフォーヴィスムなど新しい表現に触発されます。さらに、他の芸術家と同様に（イ）にも魅せられ、この時期は彫刻とカリアティード（古代建築に用いられた女性の姿を模した柱）の制作に没頭しました。

当時のパリは新しい美術が次々と生まれる刺激的な芸術都市でした。モディリアーニは仲間と豊かに交流し、文学者とも親交を深めます。パリの共同アトリエ「シテ・ファルギエール」ではモディリアーニと日本人画家との間に交流が生まれます。なかでも藤田嗣治とは友情で結ばれていました。

モディリアーニと20世紀前期のパリで開花した芸術は、新時代の幕開けを迎える躍動感に満ちています。

- (ア) ① 肖像画  
② 風景画  
③ 静物画  
④ 歴史画  
⑤ 宗教画

26

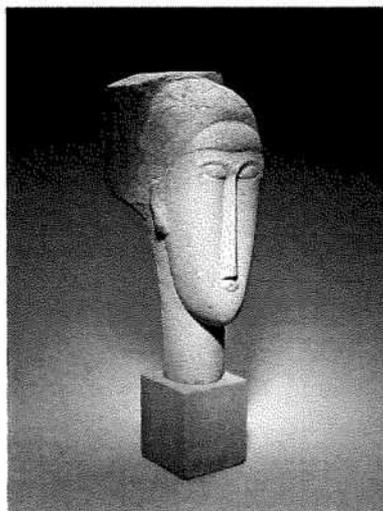
- (イ) ① 日本美術  
② 東洋美術  
③ アフリカ美術  
④ エジプト美術  
⑤ 古典美術

27

(6) 次の作品のうち、アメデオ・モディリアーニの作品でないものはどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。



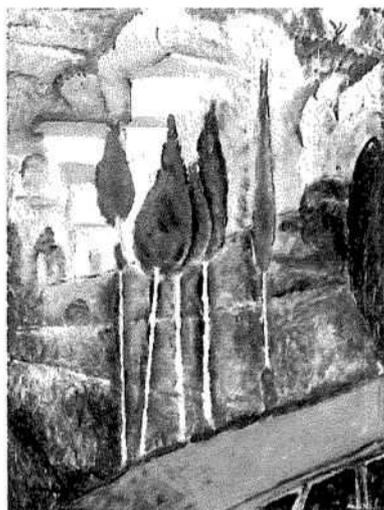
①



②



③



④



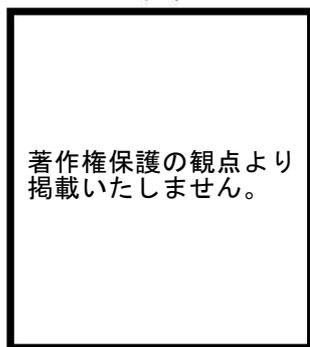
⑤

28

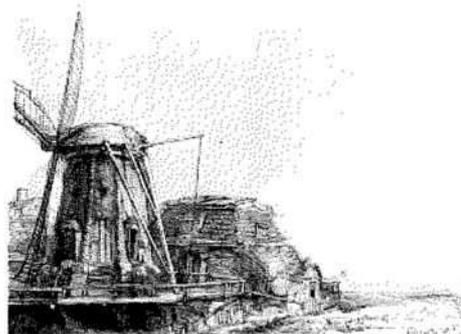
(7) 版画にはさまざまな技法がある。それぞれに表現の持ち味があるため、生徒には幅広く経験させたい。次の(ア)～(ウ)の版画作品の表現技法に関する、(A)版の仕組みの図(B)版の仕組みの説明として適切なものをそれぞれ①～⑨から選び、番号で答えよ。



アンリ・ド・トゥールーズ＝  
ロートレック  
「ジャズ・アヴリル」(1893年)

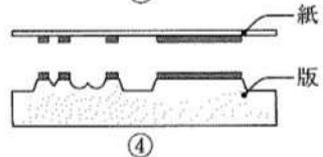
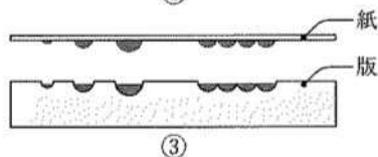
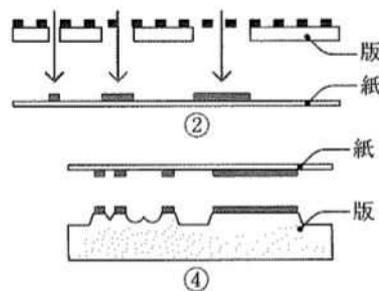
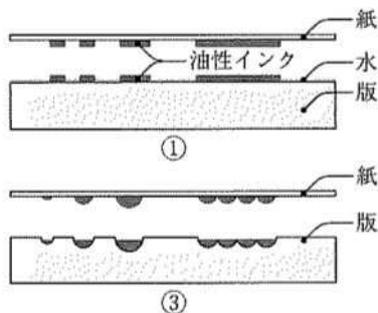


ロイ・リクテンスタイン  
「夢想」(1965年)



レンブラント・ファン・レイン  
「風車」(1641年)

(A) 版の仕組みの図



(B) 版の仕組みの説明

- ⑤ 版の凸部に絵の具やインクをつけて刷るので、印刷方法からみると凸版画である。版をつくる方法が比較的簡単で材料も入手しやすいため、版画の中で最も古くから制作された。
- ⑥ 水と油の反発作用を利用して印刷する。版面に油性の描画材で絵を描き、他の部分には水を薄く引く。その上から油性インクをつけたローラーを転がすと、水のあるところにはインクがつかず描いたところだけにつく。版には凹凸がなく平らなので平版画と言う。
- ⑦ 材料を台紙にはりつけるコラージュの技法を応用した版画である。イメージをもとに、材料を接着剤ではりつけ版をつくる。版には材料を保護するためにニスを塗るなどし、ローラーでインクをつけプレス機で刷る。
- ⑧ よく磨いた銅版の表面に凹んだ溝や傷を作り、その中にインクを詰めてプレス機で圧力をかけて印刷する。凹んだ部分にインクを詰めて印刷するので凹版画と言う。
- ⑨ 図柄の部分を残し、他の部分をインクが通らないように目止めて、上からインクを刷り込んで印刷する。孔(突き抜けた穴の意味)の部分を通して印刷するので孔版画と言う。

(ア)		(イ)		(ウ)	
(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)
29	30	31	32	33	34

【4】立体表現について、次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は、仏師 運慶と鎌倉彫刻についての記述である。次の(ア)～(ウ)にあてはまる適切なものをそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

新しい時代の到来は芸術の世界にもさまざまな変化をもたらします。12世紀の日本でも、貴族社会から武家社会へと移り変わる時代の中で仏像彫刻にも改革が起きました。<sup>たいらのしげひら</sup>平重衡の南都(現在の奈良)焼き討ちで消失した大寺院の復興に活躍したのは、慶派と呼ばれる仏師たちであり、特に運慶は新しい仏像を作るのに指導的役割を果たしました。運慶たちは、兵火をまぬがれた(ア)を研究し、新たな時代の精神を盛り込んだ仏像を生み出していきました。

運慶は南都(奈良)仏師、康慶の息子の慶派仏師です。若年期の円成寺《大日如来座像》は未だ温和で伝統的な作風にとどまりますが、やがて北条時政の注文による伊豆・願成就院《阿弥陀如来坐像》に見られるような(イ)彫りの深い作風を示し、当時台頭してきた東国武士の好むところとなります。南都復興に際しては、東大寺南大門《金剛力士像》のほか、興福寺北円堂諸像などの傑作を残しました。

また、運慶とともに活躍した(ウ)は、康慶の弟子と目される慶派仏師です。重源に重用され、その関係の造像に携わりました。運慶と分担作業をした東大寺南大門《金剛力士像》や浄土寺《阿弥陀三尊像》など多くの優作が今に伝わります。

- (ア) ① 平安彫刻 ② 飛鳥彫刻 ③ 鎌倉彫刻 ④ 白鳳彫刻 ⑤ 天平彫刻

35

- (イ) ① 静的で端正な  
② 穏やかで優美な  
③ おおらかで理知的な  
④ 抑揚のある豊かな量感を持つ  
⑤ 力動感あふれる

36

- (ウ) ① 円空 ② 定朝 ③ 木喰 ④ 快慶 ⑤ 湛慶

37

(2) 次の仏像のうち、運慶作のものはどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。



①



②



③



④



⑤

- (3) 次の文は、ミケランジェロとルネサンスについての記述である。次の(ア)、(イ)にあてはまる適切なものをそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

ルネサンス美術は(ア)を基礎として生まれましたが、その際、ルネサンスの芸術家にとりわけ大きな影響を与えたのは、数々の古代彫刻でした。それらを制作した人々は、長い年月をかけて理想の美を追い求めましたが、最も重要な役割を担っていたのが男性裸体彫刻です。古代オリンピックが、神に奉げるものとして鍛えられた美しい裸体で行われたように、美の規範は男性の裸体表現によって示されたのです。その影響を受け、ルネサンスで最も徹底して男性の身体を追求したのがミケランジェロでした。彼が生きた時代には、ラオコーンなど古代彫刻の名品が発掘され、ミケランジェロがその発掘現場を訪ねたという記録も残っています。

ミケランジェロは、美しい人体彫刻にはモデルとなった人物の天与の心や知性が映し出されるという信念を抱きながら、(イ)を独創性豊かに表現したルネサンスの代表的彫刻家でした。

- (ア) ① 初期キリスト教美術  
② ロマネスク様式  
③ 古代エジプト美術  
④ 古代ギリシャ・ローマ美術  
⑤ バロック様式

39

- (イ) ① 理想的なプロポーションをもった女性の身体  
② 均整の取れた勇壮な男性の身体  
③ 写実表現にとらわれない男性の身体  
④ 誇張に近い激しさのある人間像  
⑤ そぎ落とされた肉体の身体

40

(4) 次の彫刻のうち、ミケランジェロの作品はどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。



①



②



③



④



⑤

41

【5】デザインについて、次の問いに答えよ。

(1) 同じ機能を持つ椅子でも時代ごとの生活様式や美意識、技術の進歩などによって、素材や構造、デザインなどが変化している。デザイン史上の著名な椅子(ア)～(エ)について、あてはまる適切な説明文をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

(ア)



(イ)



(ウ)



(エ)



- ① 建築家の作者が、自身が設定した建築物での使用のために作成した。日本の格子やはしごを思わせる長い直立した背に特徴がある。
- ② ピエト・モンドリアンらとともに芸術運動を繰り広げた作者が、彼らの理念を立体で表すことを考え、構成した。
- ③ 曲木の技術を用いた椅子。安価で使い勝手がよく、分解・組み立てが可能で流通させやすく、大量生産された。
- ④ 成形合板による背から座面までの一体形成が特徴。背もたれがくびれた全体の形の印象から名前がついた。
- ⑤ パルセロナ万国博覧会ドイツ館で、スペイン国王と王妃が座るためにデザインされた。高級感を備えたはさみ折りたたみ型の椅子。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
42	43	44	45

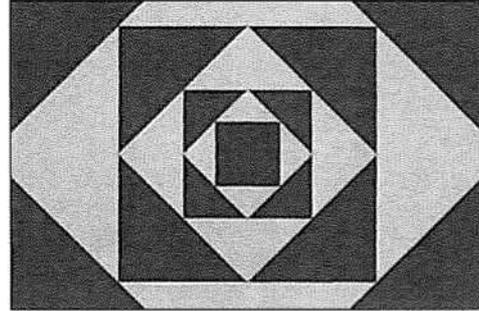
(2) デザインの指導をする上で大切にしたい構成の要素について (ア) ~ (オ) にあてはまる最も適切な語句を①~⑧から選び、番号で答えよ。

(ア)



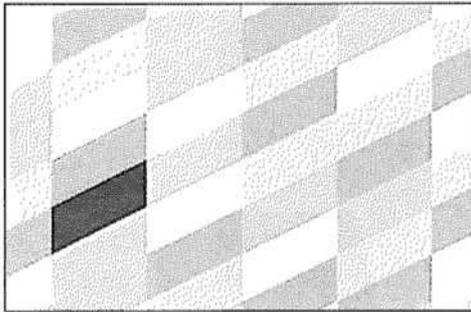
形や色が規則性をもって変化すると、動きを感じる。

(イ)



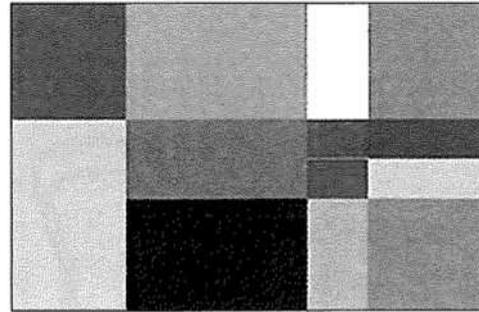
左右、上下に同じ形を置くと、バランスのよい安定した調和を感じる。

(ウ)



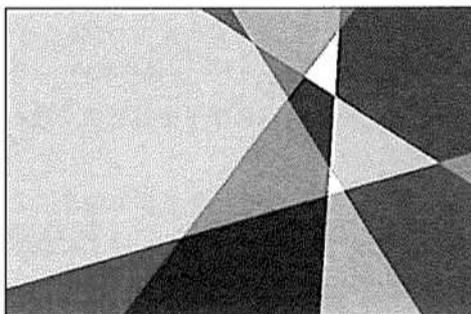
配置や面積比、配色によって、一部分を強調し、視覚的に引き付ける。

(エ)



部分と部分、部分と全体との割合に強弱を付けると、全体にまとまりが生まれる。

(オ)



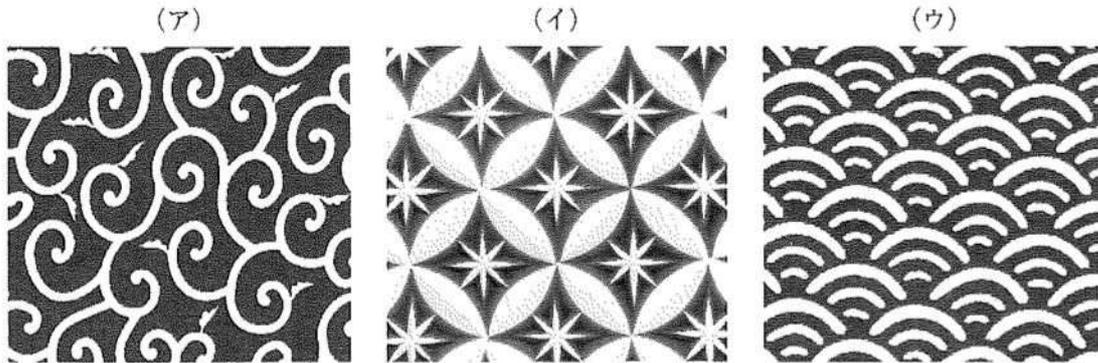
異質な形や色、面積に差を付けた配置などにより対比効果を強める。

- ① シンメトリー      ② ハーモニー      ③ グラデーション      ④ プロポーション  
 ⑤ リズム              ⑥ アクセント      ⑦ リピティション      ⑧ コントラスト

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
46	47	48	49	50

【6】 工芸について、次の問いに答えよ。

(1) 日本各地の伝統工芸に用いられている文様(ア)～(ウ)について、あてはまる呼称を①～⑩から選び、番号で答えよ。



- ① 組紐文様    ② 雲形文様    ③ 菊づくし    ④ 矢<sup>や</sup>絣<sup>がすり</sup>文様    ⑤ 魚形文様  
 ⑥ 唐草文様    ⑦ 星形文様    ⑧ 青海波文様    ⑨ 網干文様    ⑩ 七宝文様

(ア)	(イ)	(ウ)
51	52	53

(2) 生活に使う道具を、木の特徴を生かしてつくる活動として、バターナイフづくりを指導する。その際の留意点として誤った記述を①～④から選び、番号で答えよ。

- ① バターナイフはバターを塗るという機能のほか、持ちやすく、手になじむ形にすることが大切である。
- ② 色や木目、手触りや匂い、重さなどを確かめながら、材料にする木の種類を選ぶ。
- ③ 電動糸のこ盤でおおまかに形を切り出してから、木目の方向に気をつけて小刀で削る。
- ④ 目の細かい紙やすりから始めて、徐々に目の粗いものへと段階的に使って磨いていく。

54

(3) バターナイフづくりで用いる「(ア) 電動糸のこ盤」と「(イ) 小刀」の使い方について、誤った記述を①～④から選び、番号で答えよ。

(ア) 電動糸のこ盤

- ① はじめに、糸のこ刃を下の締め具にはさみ、ちょうねじでとめる。刃は手前に向け、上向きにつける。
- ② 刃の向きがあっているか、垂直についているかを確認する。指先で軽く押して張り具合を調べる。
- ③ 材料をテーブルに置き、板押さえで押さえる。材料を強く押さえすぎないように調整する。
- ④ のこ刃の動く速さに合わせ、ゆっくり板を押し進める。無理に押して刃をたわませないように注意する。

55

(イ) 小刀

- ① 小刀のさやは、両側を握って親指どうしを合わせ、親指を押し出すと安全に抜ける。
- ② 材料を持っているほうの手の親指で、力強く刃を押し出すように削る。
- ③ 作業台などにあてて固定し、刃を前に出すようにして削ることもできる。
- ④ 使い終わったら、刃先がさやに入ったことを確かめて奥まで納める。使わないときは常にさやに入れておく。

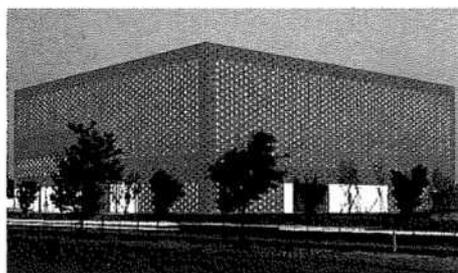
56

【7】人々の生活に位置づく公共建築空間について、次の問いに答えよ。

公共建築はたくさんの人が利用するため、皆が快適に使えるようにさまざまな工夫がされている。次の図書館とその設計の工夫について、(ア)～(ウ)にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

金沢海みらい図書館 (2011)

ずらりと並んだ約6000個の円い窓が印象的な図書館。この窓により、積雪の多い北陸でも1年を通して快適に(ア)できる。直方体のシンプルな外観は、夜は窓から内部の光が漏れて、建物そのものが照明のようになる。

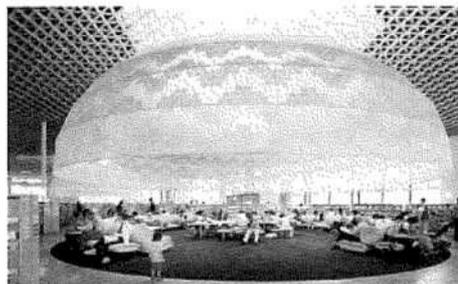


- (ア) ① 換気 ② 採光 ③ 空調管理 ④ 遮光 ⑤ 景観を保つことが

57

みんなの森 ぎふメディアコスモス (2015)

訪れた人を柔らかく包み込む「グローブ」と呼ばれる覆いが特徴。空気の流れをコントロールし、また昼間は上部から自然光を取り込み、夜はLED照明が灯されランプシェードとなる。閲覧エリアには座り心地のよいソファを置き、リラックスできる空間になっている。文学エリアは、本棚の高さを低くすることで(イ)を抑えている。屋根は地域の山々の稜線を思わせる形状である。



- (イ) ① 照度の低下 ② 空調にかかる費用 ③ 動線の複雑さ  
④ 資材の費用 ⑤ 圧迫感

58

ヘルシンキ中央図書館 (2018)

「(ウ) リビングルーム」をコンセプトにつくられた図書館。うねるような天井と緩やかな傾斜の階段に囲まれた空間が印象的である。閲覧エリアには、ソファやカーペットが置かれており、好きな場所で自由に本を読むことができる。階段に座って読書を楽しむ人も多い。美しい流線型の建物は遠くからでも目を引く。



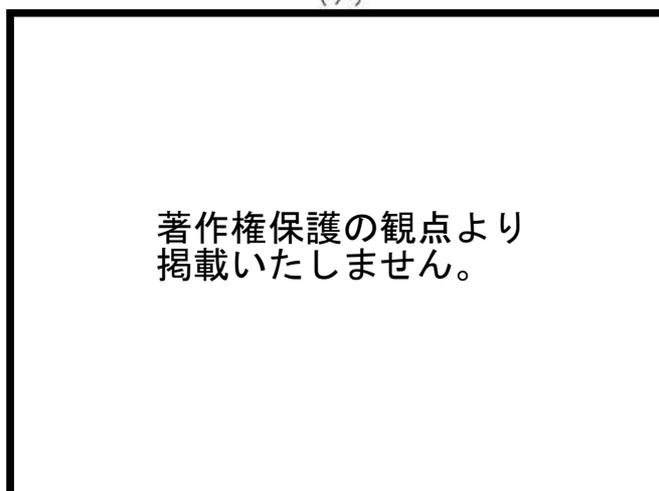
- (ウ) ① デザインを楽しむ ② 非日常と出会う ③ 人々が交流する  
④ ひとりで過ごせる ⑤ 省エネ

59

【8】 次の問いに答えよ。

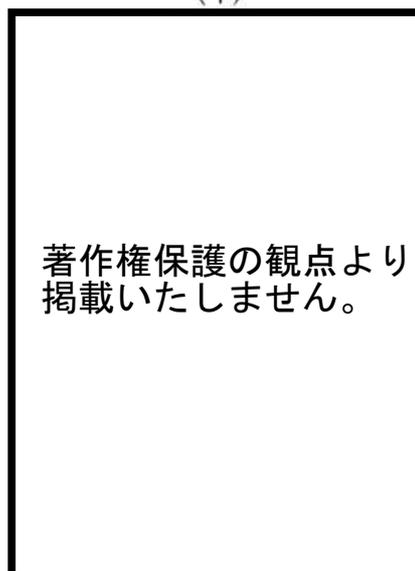
(1) 次の (ア) ～ (ウ) それぞれの写真表現で最も意識されているものはどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

(ア)



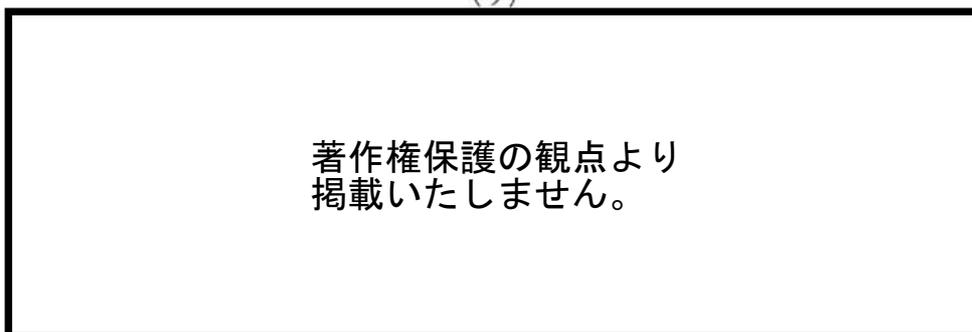
パパとママとコドモたち 植田正治 (1949)

(イ)



足跡 ソール・ライター (1950年ごろ)

(ウ)



【未来ちゃん】より 川島小鳥 (2011)

- ① 構図を意識して都市の光景を大胆に切り取り、詩的な写真を撮った。
- ② 目の前の出来事を素早く撮る。
- ③ 瞬間の躍動感を切り取るようにして撮る。
- ④ 生活を共にするなかで、生き生きとした表情を撮る。
- ⑤ 演出して斬新な表現を撮る。

(ア)	(イ)	(ウ)
60	61	62

(2) 豊かな写真表現のためにはカメラの機能を最大限生かすことが欠かせない。写真作品(ア)～(ウ)が最も効果的に用いているカメラの機能は次のうちどれか。①～⑥から適切なものを選び、番号で答えよ。

(ア)



ラテアートの部分だけにピントを合わせ、他はぼやけるように撮影した。

(イ)



瞬間的な躍動感を表現できるように撮影した。

(ウ)



白いテーブルクロスの影響でイチゴが暗くならないように撮影した。

- ① シャッタースピードを高速にした。
- ② シャッタースピードを低速にした。
- ③ 絞り値を最小値にした。
- ④ 絞り値を最大値にした。
- ⑤ 露出を下げた。
- ⑥ 露出を上げた。

(ア)	(イ)	(ウ)
63	64	65

